



令和 8 年 6 月 5 日

発行者 横浜市立篠原中学校

校長 濱崎 利司

6 月号

令和 8 年度前半の主な行事が終わりました…



上の画像は本校第55回体育祭のスローガンである、「篠原界限～魂込めろや 体育祭～」です。開会式の校長挨拶でも紹介しましたが、私はこれを気に入っています。毎回、体育祭実行委員の生徒を中心に決めています。生徒の発想・創造力には唸られるものがあります。これを教室の窓に貼り付け、当日来校された方も目にされたと思います。今回の体育祭は天気恵まれ、予行をはじめ雨天による順延の心配が全くない天気予報と天候でした。ここまで完ぺきな状況は私の教員生活40年間で初めてと言ってよかったです。

下の写真1は体育祭の呼び物の一つ、教職員チームvs3年生有志の綱引き対決です。恒例となりつつあって大きな盛り上がりの中、1勝1敗から勝負の3戦目は3年生の勝利となり、2勝1敗となって勝ち越し、教職員チームとしては残念な結果となりました。それもそのはず、3年生チームに同じ3年生が“助っ人”として加入したのでは人数的に叶いませんでした。来年は教職員チームも“助っ人”を招きたいと思います。どうか保護者の皆様、来年の対決に我と思わん方は教職員チームに是非ご参加をお願いし、“大人の力”を見せつけましょう！

本校は旅行的行事として、1年生は「遠足」、2年生は「東京遠足（東京都上野・浅草地区）」・3年生は「修学旅行（京都・広島）」を実施しています。各学年の“ビッグイベント”と言えます。また、1年→3年と生徒の自主性を発展的に養う取組としても重要性が高いです。管理職は責任者として引率しますが、今回1・2年生は副校長先生に引率責任者をお願いし、私は修学旅行に“団長”として参加しました。写真2は「原爆の子の像」です。広島市の平和記念公園内にあり、折り鶴を捧げ持つ少女の高さ約9mのブロンズ像で平和な未来への夢を託します。この像の下には「これはぼくらの叫びです これは私たちの祈りです 世界に平和をきずくための」と刻まれた石碑があります。この像は佐々木 禎子さんという被爆から10年後に白血病で亡くなった少女を悼み、つくられたそうです。ここで、3年生は平和集会を今年も行い、代表生徒たちのスピーチとともにひとり一人が平和の想いを胸に、「大地讃頌」を歌うことができました。

今年も旅行的行事は天候にも恵まれて実施でき、無事に取り組むことができました。参加した生徒も事情により参加できなかった生徒も、中学校での様々な学びを意識して将来に生かしてほしい。



←写真1

写真2→



蘇る、勤労 ～1 学年校外学習～

6月1日月曜日晴れ渡る青空の中、1年生の校外学習で「キッザニア」に行ってきました。新横浜の広場に集合し、チェックを受けてから出発!初夏の大冒険、子どもたちだけで協力し、豊洲にあるキッザニアに向かいました。副校長である私も同じ時間帯の電車に乗りましたが、満員電車に遭遇してしまいました。満員電車の荒波を乗り越え、乗り換えては女性専用車両に乗りそうになり、直前で気が付いてセーフ。なんやかんやありましたが、全員が無事にららばーと豊洲内にあるキッザニアにたどり着きました。キッザニア内では職業を選んで受付をし、時間になったら体験スタート。冷凍食品やピザ、ハンバーガーなどの食品を作ったり、アンケートの調査員、配達員、マンションの建設員やデザイン系、美容系など様々なジャンルがありました。中にはファッションモデルやパレードダンサーなどもありました。途中大きな鐘の音が鳴り、ウェディングドレスを着た小さな女の子たちが歩いてきました。「何の職業かな?」と思っていたら、新婦の方ではなく、ウェディングスタッフの方の体験だったようです。午後になり無事に体験を終了し、豊洲公園で集合写真を撮って活動終了。満員電車体験～職業体験、そして無事に帰宅へ。一日のお勤めを終えました。ぜひ今度は息子を連れてきてみようかな。と思いました。

近頃巷で流行るもの ～2 学年校外学習～

近頃巷で流行るもの。浅草、押上、スカイツリー。6月初旬の木曜日、行ってきました東京都。電車で向かったその先に、待っていたのは巨大な“木”。大きな箱にて上がったら、一望できる我が日本。近頃巷で流行るもの。メンチにもんじゃにいちごあめ。仲見世歩いたその先に、ドンと構える浅草寺。両手を合わせて願わくば、校外学習大成功。近頃巷で流行るもの。初夏の子どもの大冒険。スマホ片手にしおり見て、立てた計画大成功。もしも計画外れたら、借りたスマホで報告し、了解取れば一安心。もしもルールが守れたら、きっと京都も大成功。みんな疲れはしたけれど、一人残らず無事帰宅。多少の修正あるけれど、校外体験生かしつつ、次なる目標設定し、忘れちゃいけない仲間の絆。繋いでいこう仲間の絆。

仲間がいる`よ!!!!

今回の校外学習を通して「友達」ではなく「仲間」の存在を感じてくれたら嬉しいです。

友達?仲間?ムムムっ。何が違うのか。人間とは十人十色、十人いれば十人なりの考え方があります。もちろん性格が合う、合わないもあります。人間だもの。じゃあ、気が合う人とだけ付き合えばよい…一緒に楽しく過ごせばいいじゃないか。それがお友達。でも、仲間は違います。気が合おうが合うまいが、一つの目標や目的に向かって一緒に努力し合える人たち…それが仲間。たとえば桃太郎。桃太郎の仲間たちは犬、猿、雉とおおよそ仲良くなれなさそうな面子です。よくもまあ、相容れたなと感心します。しかし彼らは友達ではなく、「村を救う」という共通目的のもと、手を取り合って行動を共にする仲間たちなのです。犬猿の仲を乗り越えて、彼らは一つの目的のもと、仲間になったのです。今回の校外学習でも仲間の存在を感じることができたことでしょう。各班や各学級には、個性があふれています。桃太郎の仲間と同じように、様々な人たちがいますが、目指すところはみんな同じはず。目指すところ?体育祭では競技を通じて



「勝利」と「団結」。合唱コンクールでは「一体感」と「素晴らしい合唱」。そして日々の生活の中では学級目標の実現に向けて取り組んでいくのです。いつか大人になり、学生時代を振り返ったときに「あのクラス、なんか良いクラスだったな」と忘れられないクラスになるのは大抵「友達」よりも「仲間」がたくさんいるクラスなのです。さあ、みんなて声をかけあって、「仲間」になっていきましょう。気が合わなくても問題ない。桃太郎と同じように、先生や保護者の支えを受け、クラスで出会った仲間とともに、同じ目標に向かってさらに切磋琢磨していきましょう!